

日本鐵鋼協會記事

理事會 昭和5年6月4日(水)午後5時開會 **出席者** 俵 國一君 河村 驍君 松下長久君 今泉嘉一郎君 鹽田泰介君 服部 漸君 川上義弘君 室井嘉治馬君 **協議事項** 1. 服部博士記念資金取扱方法に關する件 2. 會誌印刷費に關する件 (印刷所 6ヶ所の見積書に就て審議の結果三秀舎に決定す) 3. 第5回講演大會開催準備に關する件 4. 第4回研究部會開催準備に關する件 5. 第5回講演大會出演者及題目に關する件 (應募者受付數 11名 11題) 6. 入退會者及會員種別變更申出者承認の件 其他重要會務に關する諸件を審議し午後8時閉會す。

編輯委員會 昭和5年6月4日(水)午後5時開會 **出席者** 川上義弘君 室井嘉治馬君 田中清治君 足立泰雄君 三島德七君 廣瀨政次君 石原善雄君 池田正二君 鹽澤正一君 海老原敬吉君 **協議事項** 1. 鐵と鋼第16年第7號原稿選定の件 決定論文次の如し。

- 二三の廢棄鐵鑛石利用に關する研究……………谷 山 巖
- 平爐噴出口に於ける瓦斯の燃焼の實驗……………俵 國 一
- 純鐵の窒化機構に就て……………田 澤 敏 次 郎

2. 會誌内容改善及雜錄、抄録欄豊富にする件、其他編輯上重要な諸件を協議し午後8時閉會す。

編輯委員抄録、雜錄記事分擔 本年度より本會々誌中の抄録、雜錄欄を一層豊富にし會員一般の資料を多からしめんが爲め編輯委員方に於て次の如く記事擔當される事となりたり。

- 1. 製鋼製鐵一般 足立泰雄君 1. 銑鐵の製造 鹽澤正一君 田中清治君 1. 鋼の製造 石原善雄君 廣瀨政次君 1. 加工法 三島德七君 1. 鐵鋼の性質 海老原敬吉君 池田正二君 1. 其他 三島德七君 田中清治君

入會者承認濟

居所及宛名先	稱號	勤務先並職業	會員別	入會者氏名	紹介者
仙臺市小田原牛小屋町四	工學士	日本電熱線製造株式會社	正	松永陽之助君	本多光太郎 村上武次郎
大阪市北區中野町5ノ66 奥田龜藏方	明專工學士	大阪工業大學冶金教室	准	宮崎利策君	井口庄之助
大阪市北區東野田町大阪工業大學冶金教室	工學士	大阪工業大學冶金教室	〃	岡田實君	〃
小石川區高田豐川町三七		東京帝大冶金科學生	〃	山本信公君	俵 國 一

會員種別變更者承認

准會員より正會員に變更者

- 中村幸雄君 小川芳樹君 伊藤孝吉君 銅金義一君 的場幸雄君 井門文三君
- 小籾重行君 西山彌太郎君 角野尙徳君 仁井辰三君 渡邊一郎君 福留富治君

谷山榮介君 松田武四郎君 武田庸二君 谷口光平君 吉川平喜君 葛誠四郎君
退會者承認濟 正會員川崎造船所技師 ヨハンドリーゼン歸國に付き退會

日本鐵鋼協會第十五回通常總會晚餐會卓上演説

○會長(服部漸君) 本日の通常總會も講演會も諸君の御出席に依りまして盛會に終りましたことは感謝に堪へぬ次第でございます、私は2年前に御推薦に依りまして會長の席を汚しましたが、爾來何等爲す所もなく唯理事編輯員の方々の御援助に依りまして辛うじて先づ大過なく今日に及んだ譯でございます、本日の總會を以て任期満了いたしました譯であります、取別けて何もすることの出来なかつたと云ふことは茲に御詫びを申さなければなりません、次の會長は俵博士でありまして、今後此鐵鋼協會が時勢の進運と共に段々發展をして行かなくてはならぬと云ふ時に當りまして俵博士の會長を得たことは誠に喜ばしい次第であります、俵さんは既に一回會長をなされ、十分に御経験もあり、今後の事に對しては定めし色々新しく又御計畫のことと深く期待いたす次第であります、又本會の今後發展をしまするに付きましては俵さんの御姓名から一體私は鐵鋼協會の大國柱としての表象が現れて居ると思ひます……[笑聲起る]……將來益々鐵鋼協會が發展して行くと云ふことは疑を持たぬことであります、今夕は皆様の御出席を得まして斯く盛大に會を終つたと云ふことに對して一言御禮を申し上げ、尙ほ俵さんに將來宜しく御願いたしたいと云ふことを申上げて本會の御挨拶と致したいと思ひます。

[拍手起る]

○俵 國一君 本日の總會に於きまして會長に選ばれましたことは恐縮に存じます、微力の私が本會の今後の發展を計るには眞に不適任と思ひます、殊に目下本邦鐵鋼業の不振の時機に際して、充分に本會の使命を達し鐵鋼業の爲め少しにても貢献致しますのは困難なることであります、會員各位の御援助を得て努力して見たいと思ひます、宜敷御鞭撻と御後援を願います。實は會長としまして何等の抱負も經綸をも持ちませぬが、豫れがれ考へて居たことは河村會長時代に現實せられた本會の研究部會のことであります。今日本邦に於きまして研究所又は大學等にて立派な研究が遂げられ發表せられて、各々實地を益することが多いのであります、先程服部會長も談された通り研究と之を應用すべき工場の聯絡が不充分であります。否實地問題に關する研究及び其發表が實に少ないのであります、之は本邦に於て特に其の甚だしきものがある様で、昨年萬國工業會議に來朝せられた歐米人士も盛に唱えられたことであります。獨逸の鐵鋼技術者協會の様子を見、其各部門委員會の發表せる報告を讀みまして、常に驚嘆して居ります、先般ペテルセン博士に尋ねましたら、雜誌(スタール・アイゼン)に掲載せる廣告料金は全部其他の費用をも之に當て、居るといふ返事でありました、兎に角實地に關する有益なる報告が澤山に出ます、其内容も公にするものは其一小部分であらうと思ひ其豊富なる調査はやがて獨逸の製鐵鋼技術を發達せしむるのではないかと、實に羨ましく思ひます、本邦に於ては丁度本協會の使命の一が此點にあるのではなからうか、之は會員各位の御賛同と御同情に依り、本邦工業の爲め一步なり共之を進めたいと思ひます。

本日は私のつまらぬ講演に對し、遙るばる仙臺より、大石教授がお出になり、同教授は平爐に關し屢々有益なる報告を御發表になり此事に關し第一人者であります、又神戸よりは現にルブマン式平爐を操業せらるる川崎葺合の西山製鋼課長の御出席になりましたことは、自分として誠に光榮と存じ感謝致します。

○原田鎮治君 御指名に預りまして……今日はさうでなくても一つ御禮を申し上げやうと思つたのであります。それは外ではありませぬ。此會館を鐵鋼協會で御利用下さつたと云ふことであります。實は昨年此總會で御願を致し

ました、前途貸室がどうなるか、懸念いたしましたので、御盡力を願つて置きました所が、殆ど満室になつて我々借金をした者も先づ安心いたしましたのであります。今日は漸く寛いで居る次第であります、謂はば鐵鋼協會は鑛業會から分れて兄弟同様のものでもあります、が段々皆様の御盡力に依りまして經濟の基礎なり會誌の内容も豊富となり、非常に立派なものとなりまして、今日のやうな盛況を呈して參つたことは誠に御悦びに堪へぬ次第であります、て此會館建築は今度の新會長の俵君あたりの御目論見でありますから、どうか我田引水でなく誠に各方面に便利の地でありますれば今後屢々御會合御利用下さいまして幾分なりとも我々の責任を果せるやうに御願いたします、今日は誠に有難うございました。

〔拍手起る〕

○香村小録君 どうも服部さんは度々私を指名なされるので甚だ迷惑する次第であります、別に申上げることもありませぬけれども、本會の益々隆盛になると云ふことに付て私も非常に喜ばしく感じて居ります、私が會長の席を汚しました大正9年頃は鐵鋼業の不況のどん底でありまして、此會も漸次發達するかどうかと云ふことも自分ながら氣遣はれましたやうな時代でありました、財政も頗る困難で、仕事も出来ない譯でありますから、何も致さなかつたのであります、唯守勢一方で2年間を何にもしなくて過ぎましたのであります、甚だ今以て考へて見ますと慚愧の至であります、其後今回の新會長の俵博士が會長になられ、續いて河村博士の會長になられた時代には大いに盡力を致されまして、漸次會の基礎が鞏固になり、其後鹽田博士、服部博士を経て、今日は先程の御報告に依りまして5萬8,000餘圓の財産を有する立派なものになりまして、是からの發展は益々見るべきものが多くあらうと思ひますので非常に喜ばしく感じて居る次第であります、今度の會長は先程服部博士の言はれたやうな御名前で、非常に目出たい御名前ですが、前回は實は俵君は海外旅行中でありまして、會長年期の約半分位しか御勤めにならなかつたのであります、今度は全期を通じ充分に御活動下されて御名前の示す如く此會を立派な我國一の學會として榮え行くやうにして頂くことと、確信して居る次第であります、ちよつと喜びの餘り一言……

〔拍手起る〕

○河村 驍君 御指名に預りましたから、責を塞ぐ爲に一言申上げることに致します、私は今日の帝都復興と云ふことと關聯いたしまして鐵鋼協會の復興と云ふことに思ひを致しまして感慨に堪へぬ者であります、丁度震災の時には日本鐵鋼協會の會館は芝の烏森にありました爲に震災區域中の最も激甚なる震災區域で、本會は東京市と共に非常な打撃を受けたのであります、て12年の9月1日に本會の會館は焼失してしまふ、其當時會の財産は會館、圖書、什器、其他の預金などを集めて6萬3,000圓許りあつたと記憶して居ります、其内固定財産になつて居るものは皆火災の爲に焼失してしまふ、火災の保險金も取れない、僅に残つたものは預金、其他の2萬3,000圓許りがあるのみで、會館が焼けて事務所もない、そこで日本工業俱樂部の一室に鑛山懇話會があります、其一室の隅を漸く借受けまして事務を執つたやうな次第であつたのであります、さう云ふ悲惨な事情の下に私は本會の會長に當選しまして役員之列に連りましたのであります、其當時の悲惨なる有様は本會の創立の元勳であつた野呂博士の如きは時恰も御病中でありましたが創立された會館が焼けた事を聞いて失望落膽の餘り遂に病が革つて逝去されたと云ふやうな譯であつたのであります。私もそれから先どうしたら宜いかと云ふことに付ては非常に心配いたしましたのであります、一番初に其40坪ばかりの烏森の借地權を持つて居つたのを4,000圓で以て買つて貰ひまして、それで幾分か財政の餘裕が出来まして、三菱の地所部に御願いたしまして有樂町の七號館の一室を借り獨立の事務所を持つことが出来ました、震災の爲に市内の印刷工場が焼けて2箇月ばかり會誌の發行も出来ない、紙數も60頁以下に制限しなければ立ち行かないと云ふ様な有様であつたのであります、ところが大正14年に本會の第10周年を迎へましたので、それを機會に十周

年の祝典を擧げやう、と云ふので寄附金を募集しました所が、各方面の非常な御同情を得て2萬數千圓の金が集り、それで漸く愁眉を開きました、次いで鹽田會長の時代に維持會員の制度を設け、30口許りの會員が出来、尙此事は服部會長に至つて非常に充實いたしまして、先程御報告になつたやうに44口、1箇年4,400圓と云ふものが出るやうになり本會資産總額が先程香村博士も御話の如く5萬8,000圓になり、其外に今回服部博士の御功勞に依る御寄附が1萬9,700餘圓と云ふ金が出来ると云ふ譯でありまして、本會の基礎は著しく鞏固になつて來て、會誌の發行、其他大講演會等の事業に付きまして他の學會にも餘り遜色を見ないだけに復興いたした次第であります、併乍ら之を外國の同種の會、例へば亞米利加のアメリカン・インスティテュート・オブ・マイニング・アンド・メタルルジカル・エンジニアヤス、それから獨逸のフェラインアイゼン・ヒュッテン・ロイテ、或は英吉利のアイヨン・アンド・スティール・インスティテュートに較べますと、皆さう云ふ國では各々數十數萬圓、數百萬圓の基本金を持つて居つて、俵博士の御話もありましたやうに學術上は勿論、實際の上に役に立つ研究をなし、それを發表して有益なる活動を續けて居るのに比較しますと云ふと、まだ本會の前途と云ふものは非常に遼遠なものと考えます、丁度東京市の復興が形だけは……橋梁が出来道路が出来たと云ふ形だけは出来たが、精神的及び經濟的の活動は今後に俟たなければならぬと云ふのとそこに大小の差はあるけれども、本會の前途も矢張り同様なことであります、此點に於きましては先程新會長から御話の通り一同の一致協力に依つて益々本會を發展させたいと考へるのであります、是は震災復興に關聯いたしまして感慨に堪へない點と將來の希望を申しましたのでございますが、一言附加へて御耳に入りたいことは、本會の基金と云ふものの増加も今日のやうに不景氣では各工場から此上再三再四寄附金を募ると云ふこともなかなかむづかしいのであります、それで此會の基本金の増加と云ふやうなことは是は一朝一夕には逆も出来ない、倫敦のアイヨン・アンド・スティール・インスティテュートに致しましても、1869年に第1號の雜誌を發行して居る。爾後60有餘年を経て今日に於ては確か數十萬の財産を持つて居るのであります、簡様に會の發展は非常に永遠に考へなければならぬ、其理想と致しまして私は曾て此鐵鋼協會の會費剩餘を持ちまして之を信託會社に5,000圓だけ入れて置きました、之に手を着けずに、若し8分の利子を以て年2回の切替に依つて複利で計算いたしますと100年先には500萬圓に達する、8分の利子は今日ではむづかしい、5分の利子には廻る、それに致しますと云ふと100年先に70萬圓になる、今5,000圓使ふのは是は譯ないものであります、所謂100年の大計でどうか吾々の孫の孫の時代に於て本會が非常なる發展をなすと云ふ爲に此制度を繼續して行きたいと希望して居る次第であります、皆様御賛成を得たいと思ひます。

〔拍手起る〕

○鹽田泰介君 私は何も申上げる種がありませんが、先刻朝倉君に教へられたのですが、今晚出席の御方で外の畑の人は堤さんと朝倉さんと私ではないかと思ひます、いつも朝倉君は此會の講演會に御出席になる、無論御勤氣分も随分あるのではないかと思ふ、誠に私は有難く思ふ、此會に外の専門の會の人が講演會に來る人は少いですが、來られる御方を見る度毎に私は感謝して居る、併しこちらからも行く様にしたいのですから、此會の方に御願して置く、どうか造船協會なり機械學會なり成るべく御出席下さるやうに御願します、外の方の興味ある御話を願ふ爲に5分も經ちませぬが、是も公德の一端として是で御許しを願ひます。

〔拍手起る〕

○横堀治三郎君 私は總會に出席する時間を失つたので御馳走だけ食ひに來たのでありますが、段々御話を伺ひまして感じた所があります、今河村君の御話に依りますと、金利を勘定すると100年先には百萬圓になるとか云ふ御話であります、日本だけの勘定をしますと百萬圓になるかも知れませぬけれども、西洋のことを考へると100年後には1億萬

圓にもなろうと思ひます、日本だけのことを考へて居つたならば西洋と競争することが出来ないでありますから、どうか早く製鐵業が盛になつて西洋と立派に競争することが出来ると思ふやうにすることが必要であると思ひます、それで私は鐵の需要を盛にすることが必要である、鐵を盛に使ふやうにしなければ鐵の事業は起らぬ、それにはどうしても鐵を安くしなければならぬ、事實に於て亞米利加にしても獨逸にしても……私は深いことは知りませぬが、日本よりは安い、それだけ鐵のインダストリーが發達するのだと思ひますが、然らば日本の製鐵業はどうしたら宜いか今日の所は保護して行かなければならぬのですが、其政策としては私は關稅は不賛成、關稅は最も不賛成なる一人であります、關稅政策をやるとどうしても鐵が高くなりますからして、關稅をやらずに鐵を安くするより外ない、それには國家が之に向つて保護する、例へば鐵の鑛石は南洋から持つて來なければならぬ、其鑛石を國家が保護してやる。又石炭も日本が世界中で一番高い、隨つてコークスが高い、其コークスなども1噸に付て3圓位安くしてやる、さう云ふ風に物質に於て——原料に於て國家が保護してやる、さうして製鐵業を助けてやるやうにしたらば今後本當に國際の製鐵保護政策と云ふものが行はれて、それに依つて鐵も安く出来るやうになり、隨つて機械工業であらうが、或は造船であらうが、何であらうが、或は時計に使ふ所の鐵に至るまで安くなる、そこに於て本當の日本の製鐵業が獨立することも出来るだらう、斯う私は考へて居るのであります、ですから私は關稅保護の方は不賛成であります、どうかして物質保護、原料保護でやつて行かなければならぬ、斯う云ふ私は論であります、甚だ自分の偏狹な意見かも知れませぬけれども、私は政友會に居りました當時其意見を主張したのであります、政友會の政策としては其意見を執つて貫つたのであります、今後と雖も私は其考を以て進んで行きたいと思ふのですが、甚だ自分勝手の意見のやうでありますけれども、ちよつと私の考へて居ることだけ申上げて皆さんの御教を仰ぎたいと思ひます。

〔拍手起る〕

○松下長久君 前會長の服部博士から御指名でありますので立ちましたが、別に何にも御話を申上げることもないのであります、近頃流行の合理化と云ふことにつきまして、今日鈴木參事から御話がありました、私考へますのに此鐵鋼協會は合理化を致します根本の所ではないかと思ひますにも拘らず、私が今度理事に選定されましたと云ふことは甚だ不合理な様に感ずるのであります、先輩の方々が御出でになりますにも拘らず淺學不才の私が東京附近に住んで居りますと云ふことで今回理事に選任されました事は鐵鋼協會としては不合理化をおやりになるのぢやないかと思つて居りましたのであります、併し一旦御選任を戴きました上は先輩各位の御指導と皆様御援助に依りまして此2年間出来るだけ奮闘いたす積りでありますから、どうぞ宜しく御願いたします、他に申上げることもありませんから、是で……

〔拍手起る〕

○朝倉希一君 鹽田さんに續いて私も御指名に預りましたが、實は鹽田さんの仰しやいましたことを私も其通り考へて居つたので、其事に付ては曾て矢張り鐵鋼協會の斯う云ふ席で同じやうな感じを申上げたことがあつたと思つて居ります、偕てそれぢやどうしたらばもつと聯絡を良くすることが出来るかと云ふ方法に付てはうまい案がありませぬ、唯鹽田さんの言はれました通り御互に出ると云ふこと以外方法が無いぢやないかと思ひますけれども、差當り斯う云ふ晚餐會などにも出て聯絡を良くすることが必要であります、實際の仕事の上に於てもう少し聯絡を良くすることが必要ぢやないかと思ひます、鐵鋼の供給者たる方々とそれを利用する側の者とがもう少し聯絡を良くしなければならぬことが澤山あるのぢやないか、近來産業合理化が大に唱へられますが、之はむづかしいことは云はないで合理化の出來易い事を片端からやつて行けば宜いので、材料製造業者と使用者側とよく話合つて聯絡を良くすることは合理化の一つであります。此間渡邊博士に御願して置いたのですが、このことに就て一つの例を申上げます、實は

此間國產自動車の實驗をすることを鐵道省に申込んで來ました、私は自動車を知らないのですが、私が主任になつてやることになつた、この試驗の結果により多少でも國產自動車の發達の上に寄與したいと考へましたので、試驗を普通にやつてからすつかり分解して寸法を計つて仕上げの正確さや焼きの入れ程度等に至る迄を見た、その上で自動車の製造者たる石川島、東京瓦斯電氣、ダット3社から専門家に集つて貰つて、設計上のディスカッションをやり始めた、そして寸法から材料に至る迄各社のものが皆異なることを知りました、例へばバルブに使つて居るアロイ・スチールが3社皆違つて居るのであります、私はあの位な程度の自動車を造るのに3社が違つた材料を使ふ必要は何にもないと思ふ、かう云ふ問題に就て自動車なら自動車の製造者が一緒になり、さうしてアロイ・スチールの製造者も一緒になつて、それで仕様書はどうしやう、材料の大きさは斯う云ふ風にしやうと云ふことを決める、さうしたならば自動車の製造者としても宜しいし、又製鋼業者としても多少宜しいのではないかと思ふ、規格統一は商工省でやつて居りまして私も關係して居りますが、なかなかはかばかしく行きませぬ、あれは大變權威のあるものであつて、さう輕々にも出來まいと思ふが、世の中の事と云ふものはさう初めから旨く行くものではないので、アロイ・スチールの製造などと云ふものは先づやつて見ていなければ幾ら變へても宜いのであるから、商工省の規格統一などを待たないで、斯う云ふものは製造者と需要者と先づ是でやらうと云ふことになれば宜いだから、さう云ふことを話を付けて製造者と需要者と聯絡を取つてやりたいと思ふのです、差當り自動車用アロイ・スチールなどは鐵鋼協會あたりが主催下さるならば結構と思ひます。もう一つ……少し悪い例かも知れませぬけれども、聯絡の無い爲に詰らぬ事が起つて居る事實を申上げて見たいと思ひます。鐵鋼協會には直接關係が無いかも知れませぬが、鐵鋼協會に御關係の方々の鐵鋼協議會のなさつて居ること、我々の方で非常に困つて居る問題があるのであります、それは例のネチ用丸棒の12耗と13耗の問題ですが、ネチと云ふものはインターナショナルの問題があるから我々の方では13耗と云ふものはやめられない、ところが鐵筋コンクリートの方で12耗の需要が多い爲めに市場品として12耗を置いて3耗を置かぬことになつた、尤も13耗も相當注文があれば作つて下さる相であるが、わざわざロールして貰ふ程の注文は容易に出し得るものでない、さりとて13耗のネチ材料は極めて普通に必要なものである。それ故各方面の聯絡が旨く行くなれば鐵筋コンクリートの方も13耗を普通に使用する様に定めらるべきである。私はこんなことがどうして旨く行かないのかと不思議でならない、かやうに製造者側と需要者側とが聯絡をよくやればならぬ事柄が相當にある様に思ふ、どうか今後は旨く聯絡が取れて行くやうに御願したいと思ふのであります、これが私の希望で御座います。

〔拍手起る〕

○西山彌太郎君 御指名を受けました西山であります、斯う云ふ所て御話を致しますのは初めてでありますので、何を御話申上げて宜いやらちよつと見當の付かないやうな次第であります、別に世間に出たことがありませぬので世間話も出來ませぬ者ですから、已むを得ず技術上の御話でもして責を免れたいと思ひます、是はちよつと専門に這入りますが、私共のやつて居ります作業の中で最近起りましたことでちよつと變つた點を御話申上げて責を塞ぎたいと思ふのであります、最近私共の所で色々工夫しまして是は面白いと思つたことであります、又俵博士の御話になりました平爐のことになりますのですが、平爐作業をやつて居りまして一番困りますのは作業中にスラックが溜ります、其スラックを取りますのが非常に弱るのであります、それで大抵大きな修繕が來て400回なり500回なり使ふとあとにスラックがスラックチャンバー一杯溜ります、どこの國に參りましても已むを得ませぬからチャンバーを毀して取ると云ふことになりますのですが、色々ケミカルにそれをメルトアウトするとか、或は物理的にそれを取るとか、色々やつて見ましたところがどうも旨く參りませぬ、約2年位掛かつて西洋人と協力してやりました、最近にな

りまして漸く……それは日本人の力に依つたのですが……我々が今まで考へて居つたことはすつかり間違てありまして、スラックと云ふやつは作業中にうまくやりますと熔鑛爐のノロを出すやうに出ることが分りました、と申しますのはチャムバーの周圍が冷えて居りますから色々な方法で探つて見ましてもスラックが皆固まつて居るものと思ひました、ところが能く中から掘りましてスラックチャムバーの或深部まで這入つて見るとスラックが熔けて居ると云ふことが分りました、それで穴を明けますと作業して居る最中に熔けたやつが出て参ります、今まで修繕の度にスラックを取る爲に1週間位は費します、私の所でもさうでありました、今度はすつかり其作業が無くなりまして、どんな大きな修繕でも2、3日位でやれるやうになりました、大變面白いので日本鋼管に参りまして御話しますと日本鋼管でもやつて見やうと云ふことでありました、ちよつと面白いございますから、御話申上げて置きます。

〔拍手起る〕

○鈴木武志君 實は先程から色々伺つて居りまして、是は到底私共のやうな人間が来る所ぢやないと思ひました、何れをなににしても悉くエンジンヤの方でございまして、何を伺つても初から終まで一つも分りませぬ、是てまあどうして4年間も製鐵所の飯を食つて居つたかと甚だ怪訝に堪へない次第であります。併し鹽田さん朝倉さんの御話に従ひまして是から屢々出席さして戴きまして、少しさう云ふ御話も偶には伺ふやうにしたいと考へました、私共の立場から見まして技術者の方に色々申し上げたい不平もありますし、希望もありますし、色々ありますが又其規格の問題、色々なことでもう少し事務の側と聯絡が出来ないものかと思ふことが再々ならずございます、兎に角私共販賣の第一線に立つて居りますと、ラボラトリーで色々な御議論があるやうでございまして、其御議論を聴いて居る暇がありません、朝聴いて直ぐに契約書に右から左と掛からなければならぬ、規格がどうか何とかが言はれましても兎に角今日の内に處理してしまはなければならぬことを議論されましても始まらぬ、さう云ふ場合が非常に多いのであります、規格などに付きましても決するものから早く決めて戴いて、さうして兎に角早く決めて置いて、悪かつたらあとで直すと云ふやうにやつて戴きませぬと、其日々々の書類がちつとも捌けて参りませぬ、私共が歸る時には机上に書類を一つも残して行かぬ、1枚机の上に書類を残せば八幡に1萬噸のストックが溜ると思はなければならぬ、斯う云ふ方針でやつて居りますが、なかなかさう云ふことが行はれませぬ、殊に技術の方面の事に關しましては書類が残り勝てあります、又皆様方の方から仰しやれば、どうも叱言ばかり言うて困つた奴だと云ふ御話があるかも知れませぬ、其邊も何とかして聯絡して統制の立つやうな方法に願ひたいと思ひます、本會などにも我々のやうなクラスの者も多少出席されるやうな機会が多くなれば大變良くなるのぢやないかと考へて居ります、申し上げたいことも多々ありますが、今夕は御鄭重なる御招待に預りまして誠に有難うございました。

〔拍手起る〕

會費領收報告

正 會 員

金四圓五拾錢也	自昭和五年一月至同年六月	村 井 信 平	向 達
金八圓七拾五錢也	自昭和五年四月至同年十二月會費及入會金	笠 原 寬 美	寺 田 二 郎
金四圓五拾錢也	自昭和四年七月至同年十二月	村 井 信 平	
金八圓也	自昭和五年五月至同年十二月 會費及入會金	松 永 陽 之 助	

准 會 員

金五圓八拾錢也	自昭和五年五月至同年十二月會費及入會金	村 岡 喜 美	平 野 三 郎
	平 塚 保 明		
金六圓四拾錢也	自昭和五年四月至同年十二月會費及入會金	熊 地 直 政	松 下 義 久
金四圓六拾錢也	自昭和五年一月至同年六月會費及入會金	宮 崎 利 策	
金四圓也	自昭和五年六月至同年十月會費及入會金	白 土 四 郎	